

合意形成研究会（研究分担者）

村山 武彦（ムラヤマ タケヒコ）



※研究分野：環境計画・政策、リスク管理論、環境アセスメント
 ※合意形成に関する研究の視点：
 環境計画やリスク管理などの視点から合意形成プロセスの現状と課題を探る。

職名	東京工業大学大学院総合理工学研究科 教授
略歴	千葉県生まれ、兵庫県出身。東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了（工学博士）。福島大学行政社会学部、早稲田大学理工学部などを経て、現職。
所属学会	日本計画行政学会、日本リスク研究学会、環境アセスメント学会、環境情報科学センター、環境経済・政策学会、日本都市計画学会ほか
本研究会における報告	第3回（2015年12月）コンパクトシティの議論からみた市町村レベルの計画と広域レベルの調整における現状と課題
研究業績など	<p>"The Social and Environmental Impacts of Wind Turbine Power Plants in Thailand" (Chanokporn Smuthkalin, Takehiko Murayama and Shigeo Nishikizawa), Journal of Environmental Information Science, 43(5), pp.125-132, 2015</p> <p>「風力発電事業の計画段階における環境紛争の発生要因」（畦地啓太、堀周太郎、錦澤滋雄、村山武彦）、エネルギー・資源学会論文誌 35(2)、pp.11-22、2014</p> <p>「除染対策と合意形成(第3部 福島、再生へ向けて)」、建築雑誌 129(1655)、pp.42-43、2014</p> <p>「地熱発電開発に対する地域における社会的受容性の要因分析：柳津西山地熱発電所と小国地熱発電所計画を事例として」（上地成就、村山武彦、錦澤滋雄）、環境情報科学学術研究論文集 (27)、pp.283-288、2013</p> <p>「開発援助における環境社会配慮の現状と課題（特集 地球環境資金問題）」、環境研究 (171)、pp.132-138、2013</p> <p>「放射線リスクをめぐるコミュニケーション」、建築雑誌 128(1640)、p.57、2013</p> <p>『環境アセスメント学の基礎』（分担）「国際援助機関における環境アセスメント」、恒星社厚生閣、2013</p> <p>「地方自治体における化学物質管理とリスクコミュニケーションの現状分析」（村山武彦、武藤志保）、環境情報科学学術研究論文集、(26)、pp.91-96、2012</p> <p>「低頻度大規模災害への対応を検討する視点」、『日本リスク研究学会誌』、22(1)、pp.5-8、2012</p> <p>“Why Did the Asbestos Disaster Spread? (Takehiko Murayama and Yuji Natori) in "Asbestos Disaster: Lessons from Japan's Experience, Springer, 2011</p>
ホームページ	http://www.tm.depe.titech.ac.jp/index.html
連絡先	murayama.t.ac@m.titech.ac.jp
備考	